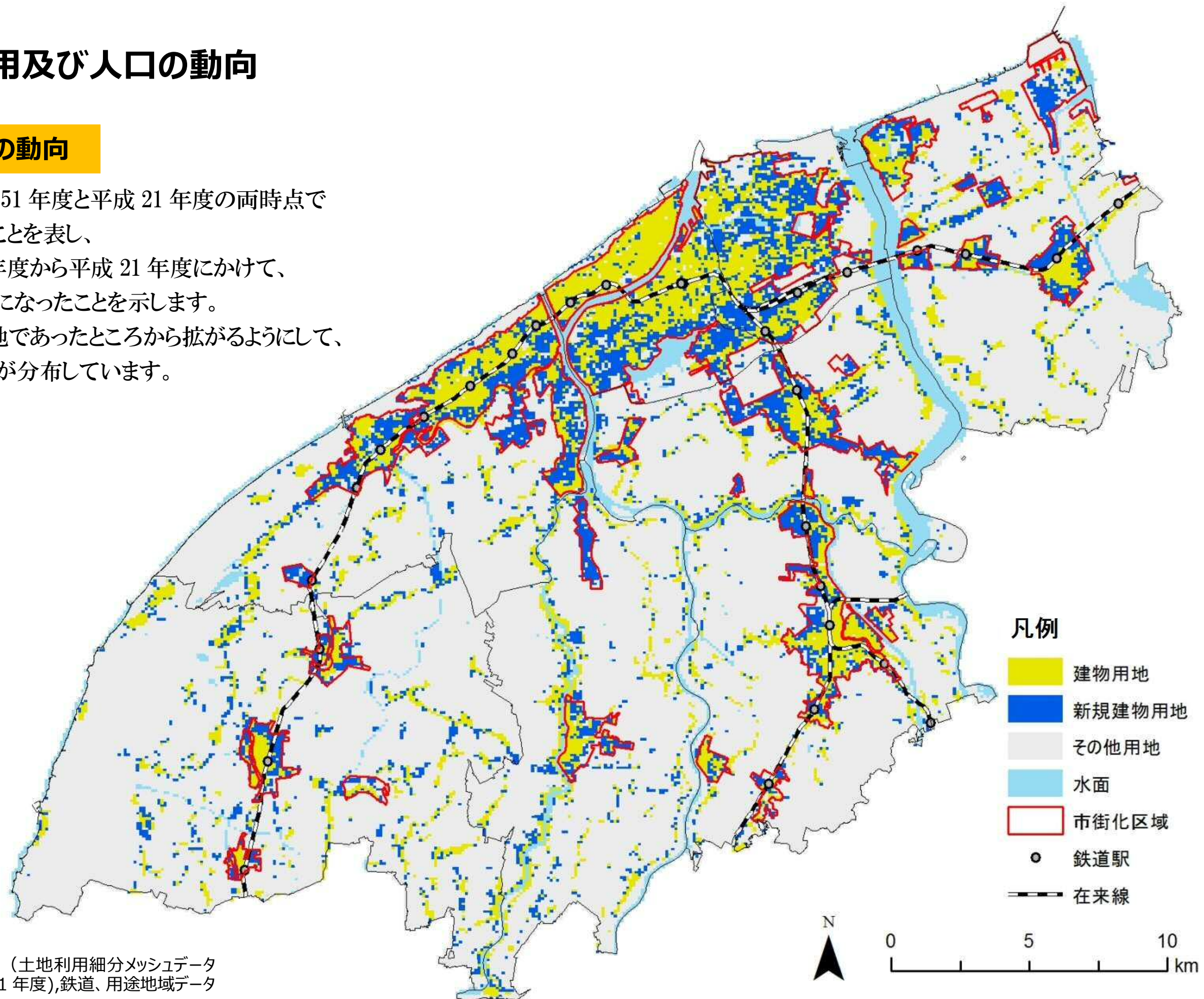


■ 2 土地利用及び人口の動向

2.1 土地利用の動向

- ▶図の黄色は昭和 51 年度と平成 21 年度の両時点で建物用地であることを表し、青色は昭和 51 年度から平成 21 年度にかけて、新たに建物用地になったことを示します。
- ▶これまで建物用地であったところから拡がるようにして、新たな建物用地が分布しています。



資料：国土数値情報（土地利用細分メッシュデータ（昭和 51 年度、平成 21 年度）、鉄道、用途地域データを加工）

図：S51～H21 年の土地利用の動向

2.2 DID (人口集中地区) の推移

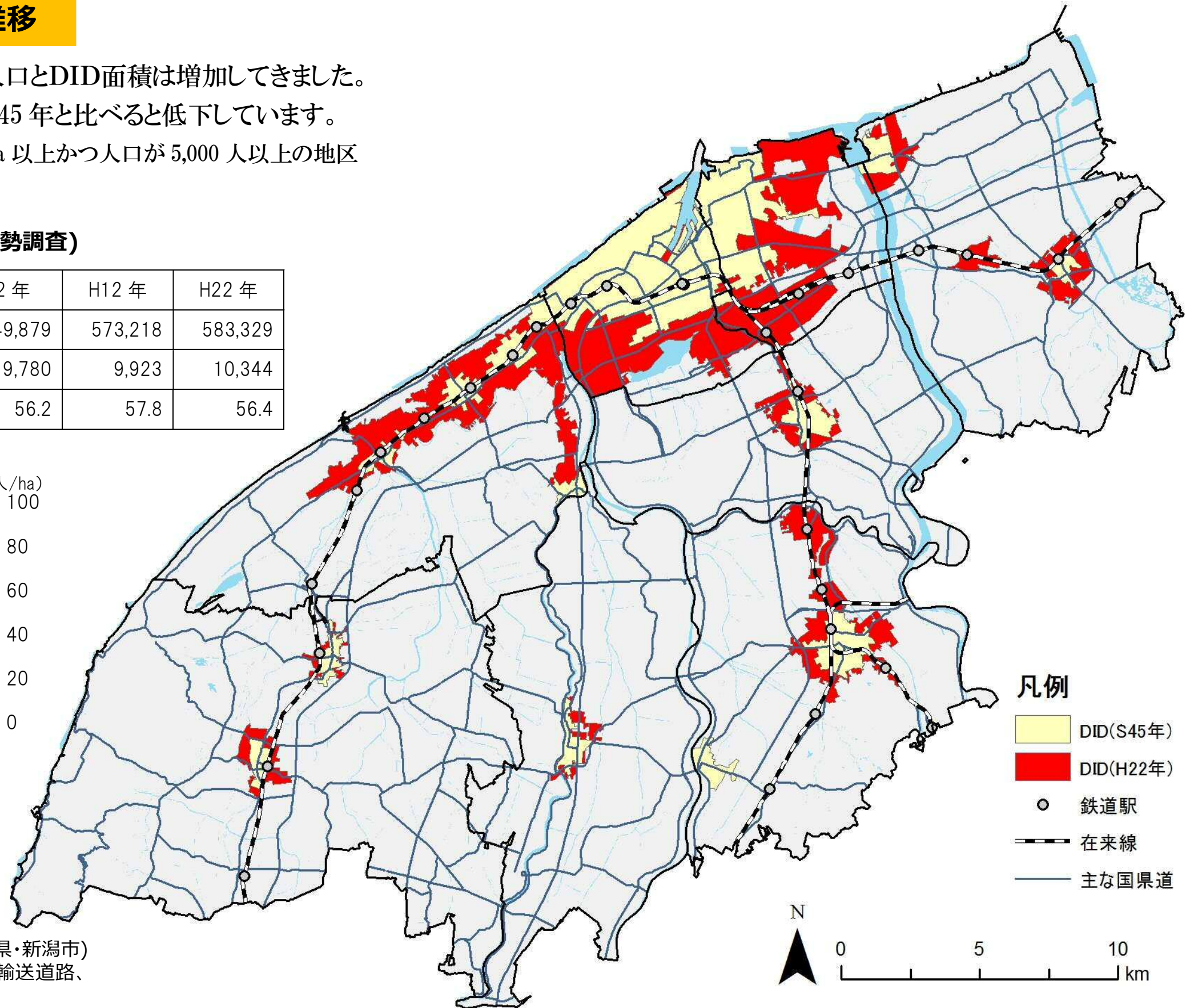
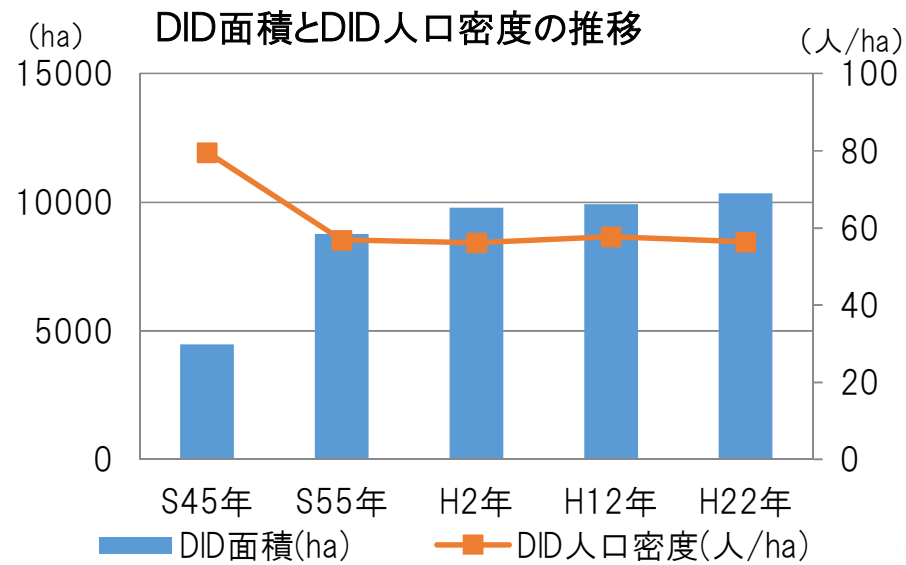
▶昭和 45 年から平成 22 年まで、DID内人口とDID面積は増加してきました。

▶一方で近年、DID内の人口密度は昭和 45 年と比べると低下しています。

※DID(人口集中地区):人口密度が 40 人/ha 以上かつ人口が 5,000 人以上の地区

図表：DID の推移(資料：国勢調査)

	S45 年	S55 年	H2 年	H12 年	H22 年
DID 内人口(人)	355,866	498,013	549,879	573,218	583,329
DID 面積(ha)	4,470	8,760	9,780	9,923	10,344
人口密度(人/ha)	79.6	56.9	56.2	57.8	56.4



資料：都市計画基礎調査(平成 24~26 年度 新潟県・新潟市)
国土数値情報 (人口集中地区データ、緊急輸送道路、
鉄道を加工)

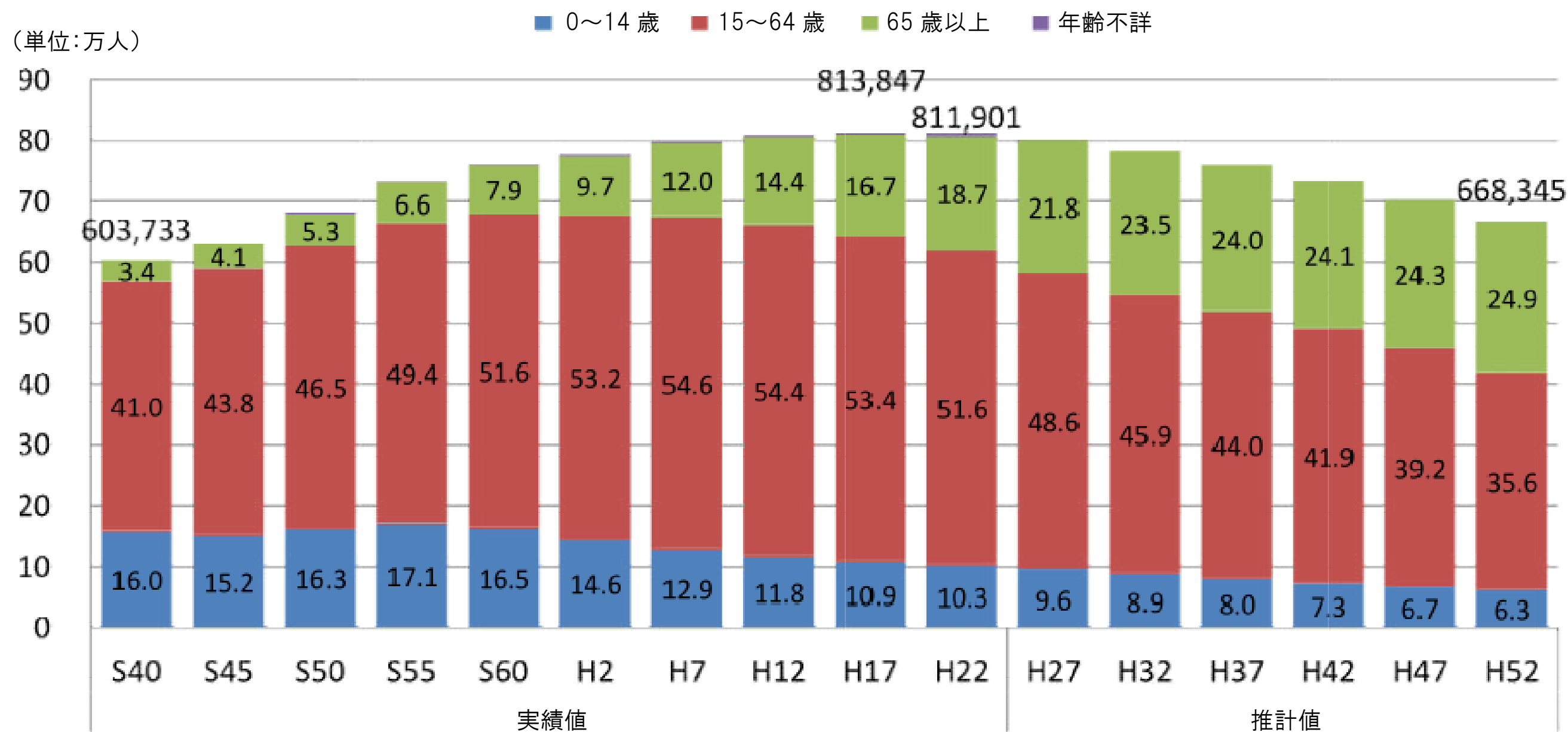
この図面は、以下の著作物を改変して利用しています。

国道・県道・市道、新潟市、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス 表示 2.1 日本
(<http://creativecommons.org/licenses/by/2.1/jp/>)

図：DID の推移

2.3 新潟市全域の人口

- ▶人口は平成 17 年の約 81.4 万人をピークに減少に転じています。年齢階層別人口の推移をみると年少人口(15 歳以下)は減少しているのに対し、高齢者人口(65 歳以上)は増加を続けています。
- ▶国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口(平成 25 年 3 月推計)」によると、新潟市の人口は平成 52 年には約 66.8 万人になると推計されています。



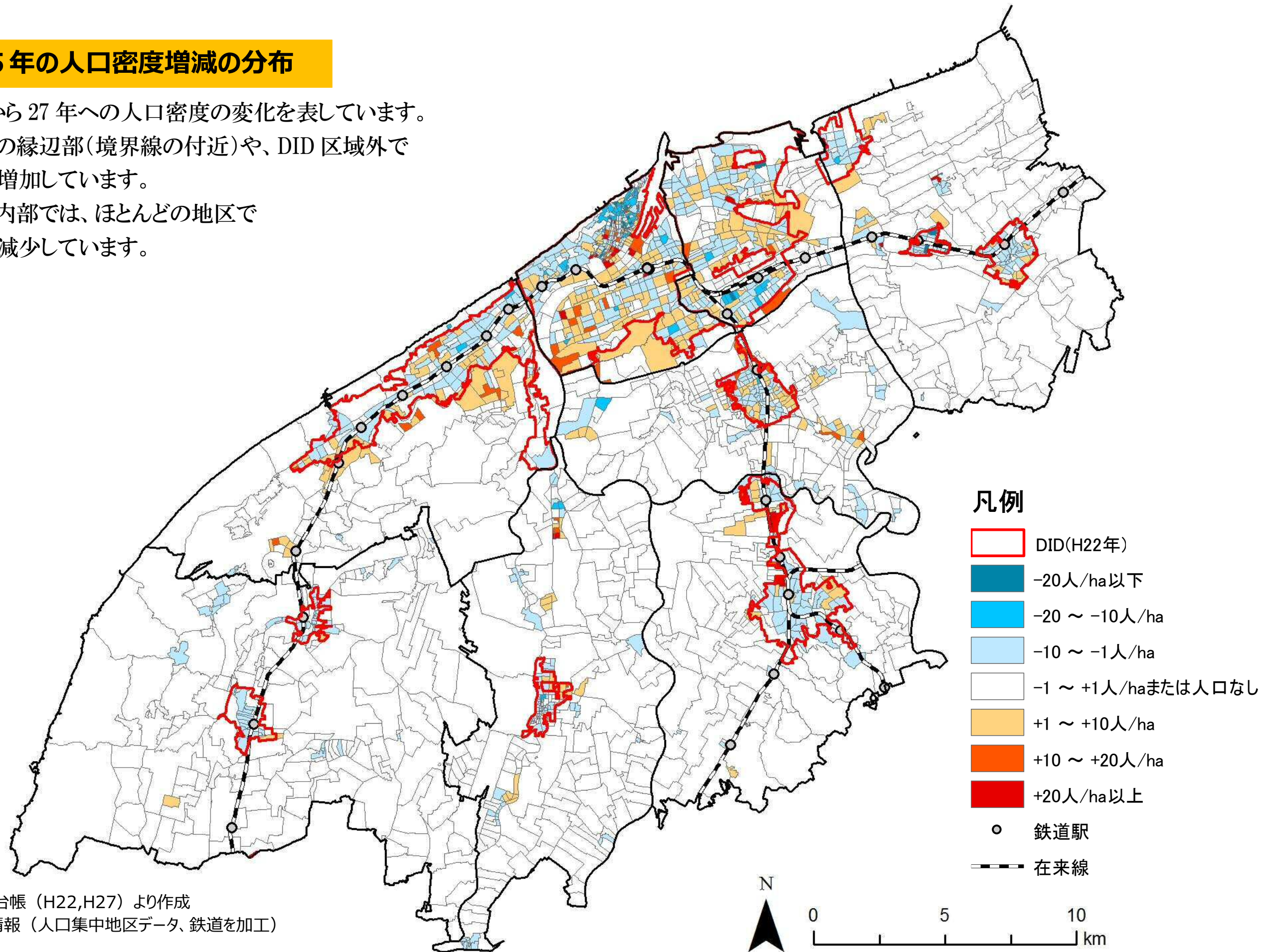
※実績値については現在の市域にあわせてあります。

資料：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

図：新潟市の人口推移と将来推計人口

2.4 過去5年の人口密度増減の分布

- ▶平成22年から27年への人口密度の変化を表しています。
- ▶DID区域内の縁辺部(境界線の付近)や、DID区域外で人口密度が増加しています。
- ▶DID区域の内部では、ほとんどの地区で人口密度が減少しています。



資料：住民基本台帳（H22,H27）より作成
国土数値情報（人口集中地区データ、鉄道を加工）

※密度の分母となる調査地区の面積は一部水面の面積が含まれます。

図：過去5年の人口密度増減(H27—H22)